

法人会ニュース そうそう

第 31 号

発行所
相馬市中村 1 丁目 2—3
(社) 相 双 法 人 会
発行人
熊 川 喜 八 郎
編集
広 報 委 員 会
発行日
平成 20 年 1 月 1 日



支部自慢コーナー

③1 新地町

新地町

鹿狼山・釣師浜の初日の出



毎号の表紙は、各支部の自慢の風景・祭り等を掲載して紹介します。

毎年、元旦に「鹿狼山・釣師浜から初日の出を見よう！」で賑わっています

毎年、恒例の「鹿狼山元旦登山実行委員会」と「釣師浜から初日の出を見る会」により、新地の山と海から初日の出を見る催しが行われ、町内外の人達で大変賑わいます。

謹賀新年



(社)相双法人会会長

熊川 喜八郎

平成二十年の新年を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

旧年中は、会員の皆様方には、何かと御支援と御協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

お陰様をもちまして、当法人会の諸事業も滞りなく進行できました。これをひとえに、関係諸機関のご指導と会員皆様方の御協力の賜と深く感謝を申し上げる次第であります。

昨年は、企業を取り巻く環境に、一段と厳しさが増大した年でありました。受注の減少、販売の伸び悩みなど、又、後半より特に石油の高騰は、経営を圧迫しかねない状況であります。全ての産業に値上げの波が漂いはじめております。

今年には国政の改選時期で、政治の流れも変革しております。安心・安全がもっとも大事な経営基盤である事は申す

までもありません。

地域経済に於いては、さらなる活性化が図られますと共に、企業努力に因って邁進されます事を強く期待するものであります。

さて、法人会の基本理念であります「良き経営者をめざす者の団体」として、会員の積極的な自己啓発を支援し、納税意識の向上と企業及び社会の健全な発展に貢献する事を念頭に、今年度もさらなる前進をはかってまいれる所存であります。

つきましては、今年度の相双法人会の目標として

一、社会貢献活動の継続
(一斉海浜清掃の実施)
二、会員増強の展開(組織の拡大)

三、e-Taxの普及活動
(納税申告の電子化)

四、会員サービスの徹底(P



ETがん検診とパートナー(ローン)

等々を重点項目として参りたいと思っておりますので、特段の皆様方のご指導ご鞭撻の程をお願い申し上げます。

終わりに、会員皆様方の益々のご繁栄とご健勝を御祈念申し上げます。年頭のご挨拶と致します。



相馬税務署長

佐々木 正 良

社団法人相双法人会並びに熊川会長はじめ役員、会員の皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶びを申し上げます。貴会には、昨年にも多大なるご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。本年も引き続き連絡協調を図りながら、山積する課題に鋭意取り組んでまいりたいと思っておりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

昨年は県法連女性部会連絡協議会の会員研修「相双大会」が南相馬市におきまして盛大に開催されました。内容も充実し、活気に溢れた大会であったと感じております。

さて、本年度における国税庁の最重要課題であります国税電子申告・納税システム(e-Tax)の利用拡大につきましましては機会のあるごとにご利用方につきましてお願い

いしてまいりました。その結果、当署管内で「開始届出書」を提出していただいた法人数が一千件の大台に乗ることができました。これもひとえに貴会の皆様方のご理解の賜物と感激しております。一方、個人の利用につきましては、これから迎える確定申告期において、是非とも会員企業役員の個人申告でご利用をお願いいたします。また、従業員の方で確定申告の提出を予定している方にもe-Taxの利用を薦めていただきたいと思っております。

今後ますますインターネットが利用され、申告の電子化が進んでいくと思いますが、こういった制度の定着・改善は、利用者が多くなつてこそ種々の施策が講じられるものと思っております。利用拡大の取り組みには皆様方のご理解とご協力なくして為し得ませんので、これからも宜しくお願い申し上げます。

終わりに、貴会の益々のご発展と会員皆様方のご繁栄を祈念して年頭の挨拶といたします。



相馬支部長
荒井 宏美

平成二十年の新年を迎え、謹んでお喜びを申し上げます。相双法人会の皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと存じ上げます。

昨年は、国内外を問わず大きな災害をはじめ、事件や事故が多発した年でありました。ここ相双地区においては、大きな事件や事故も無く、まずまずの年ではなかったかと思えます。災害にあわれた方々には衷心よりお見舞い申し上げます。

さて、地域の経済は一向に好転の兆しが見えず、未だ水面下の状態が続いております。相双地区は、日本有数の電力供給地帯ですが、その電力を消費している首都圏をはじめとする都市地域に比べる経済的な格差は大きなものがあると感じます。

本年は、皆さんと一緒においに奮起し、水面下からの脱出を計りたいと思います。具体案の一つには、福島第一原子力発電所七号、八号炉、相馬共同火力新地火力発電所

三号四号炉早期着工へ向けて着手するとともに、各地工業団地における空きスペースの活用や企業誘致等、さまざまな運動展開が考えられます。

これからは東北の時代とも言われております。皆さんと一緒においに頑張り、良い年にしたいものです。

最後に、相双法人会会員の皆様のご活躍をお祝い申し上げます。新年の挨拶といたします。



新地支部長
横山 光男

新地支部全会員の皆様と共に新年を迎える事が出来て、心から喜びとする次第です。

相双法人会は昭和五十一年五月に仙台国税局の許可を受

け発足し以来その後、平成四年十月に新地支部が誕生し現在法人数が百十五社、会員数六十社加入率五十二・二%と昨年より二社増えております。

長引く不況にもかかわらず、退会社なしと全会社アイディア等を出し毎日ががんばり続けている姿が目につかびます。これからも法人事業の公益性にのっとり健全な納税事

業者団体として、組織の拡大と強化を図ると共に法人事業繁栄の一助となるよう今日まで活動を続けて参りたいと思えます。今年も大変さびしい年となることでしょうか、全会員一致団結をしてのりこえて行きたいと思っております。新地支部法人会のますますの飛躍と発展を期する為に税務当局の変わらぬ御指導と御鞭撻と関係機関の一層の御支援御協力を心よりお願い申し上げます。併せて全会員の御健康と事業のますますの御発展を心よりお祈り申し上げ挨拶といたします。



鹿島支部長
佐藤 則夫

会員の皆さん明けましておめでとうございます。

昨年を振り返るかえって見てどうだったでしょうか、決して良い年だったとは言えない気がします。いざなぎ景気が抜いてずっと好景気が続いていると言うのはどこの国のことなのでしょう。

まるで流行語のごとく頻繁に使われた「格差」というこ

とが地域格差、業種別格差、同業種内格差とどんどん押し

寄せてきて一段と明確になった一年だったのではないかと思います。さて、今年の予測透明度はどのように思われますか。アメリカのサブプライムローン、原油の高騰、国内においては政治の不安定等良くなる兆しがいっこうにありません。年頭より暗い話ばかりになりましたがこんな時だからこそあせらず、あきらめず、じつくりと、又反常的に「当意即妙」を心し前向きな気持ちであるべきと思えてなりません。それぞれ業種もちがうことなので一概には言えませんが会員同士で情報の交換を密にし、しっかりと地に根をはらして参りたいものです。

最後になりましたが会員各社の益々の発展と、皆さんのご健勝を心より御祈念申し上げます。



原町支部長
寺島 岩男

新年明けましておめでとうございます。この一年が皆様方にとって素晴らしい一年で

ありますようお願い申し上げます。

さて、昨年は2回目となる相双地域100km圏内の海浜清掃を、原町支部としても社会貢献活動の一環として多くの支部会員の協力のもと実施することができました。また、「パートナーローン」が創設されたことは、法人会会員にとって優遇された事業資金の調達方法が増えることとなり誠に喜ばしいことであり、支部第32回通常総会終了後に説明会を開催いたしました。その他他団体と連携を図り支部会員を対象とした講演会・勉強会、会員交流の場を度々持つこともできました。これらひとえに会員企業皆様の御協力の賜物と御礼を申し上げます。

今年は、法人会の基本方針をふまえ、且つ支部会員にとって「プラス」になる事業を積極的に展開し、「入って良かった法人会」・「入りたいた法人会」となることをめざしてまいります。

これまで以上に皆様方のご指導とご協力をよろしくお願い申し上げます。



飯舘支部長
高橋 英明

新年明けましておめでとう御座います。昨年は国のゆとり教育からの教育の方向転換や、工事入札で一般競争になり業者が疲弊する平均80%の落札率問題、家庭での教育のあり方が問われている事件等、数えればキリが無い年でした。特に政府の農業政策で集団営農方式が昨年の4月から実施に入り、農業者の高齢化と共に、米の価格が毎年下がっており農村の維持が困難になりつつあるように思われます。このような環境の中にあっても我々相双法人会は困難を克服し健全な納税者団体であると同時に「よき経営者を目指す者の団体」として全国組織で国政に税の各種提言・要望を行っており、大きな力を持つ団体となっております。又、当法人会にあっては、異業種間の交流の場や社会貢献活動等を中心に活動しており、組織率の更なる向上、会員親睦の為の交流会等、工夫をしながら進めて行く所存ですので宜しくお願い致します。

す。最後になりましたが、会員各社の益々のご隆盛とご多幸をご祈念申し上げ年頭の挨拶と致します。



小高支部長
鈴木 喜八

新年あけましておめでとうございます。

平成二十年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。南相馬市が誕生して九二年が経過、益々の発展と飛躍を期待しております。

昨年は、七月の新潟中越沖地震災害に伴い、多くの住民の被害や柏崎原子力発電所の稼働停止、又七月二十九日の参議院総選挙に於いては、与野党の逆転現象等併せて、九月には安倍政権から福田政権に変わる等、激動の一年でもありました。

さて、国内景気は回復したと言われておりますが、本格的な立ち直りには程遠く、厳しい環境にあえぐ地元企業の底上げが使命であり、関係機関と連携を密にし地元会員企業の活性化を図っていききたいと思っております。



浪江支部長
松原 靖

この厳しい経済情勢下、法人会の使命と役割はますます重大であり、地域再生のため従来以上に増してその活動が期待されております。

しかし法人会のおかれている環境も、会員の減少、会員の求めるニーズの多様化等大きな変化に直面していることも事実であります。

これらの環境変化を直視し、難局を打開するため、今後は新設法人の加入促進と併せ、組織率の増加を目指し、地域商工業の振興と福祉の増進に寄与することが肝要であると考えております。

終わりに、連帯と協調を深めつつ、今まで以上に中小企業の経営支援に取り組んで参る所存であります。

今後とも、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶と致します。

会員の皆様にはご健勝にて新年をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

昨年はいわゆる偽装問題を

発端とする生産地の詐称や賞味期限の日付操作など、企業倫理が大きく問われた一年でありました。相当に長い時間を要して築き上げられた業界老舗の信用が一瞬にして失墜する姿は、消費者から乖離した企業の独善的な体質を浮き彫りにし、私たち商業者に少なからぬ自省を促しました。

また、地域にあつて今春以降に予定されている大型店の相次ぐ出店攻勢に私たち商業者は危機意識を抱かざるを得ません。

いよいよ会員一人一人が今まで営々と蓄えて来た地域に根ざした「人間力」が試される時です。私たち法人会におきましても地域の発展・支部の発展に貢献するために、より活発な情報交換や相互の意思疎通を図ることがこれまでに以上求められています。会員の皆様のお力添えを賜りながら来るべき新しい未来に向かって前進して参りましょう。

会員皆様のご健勝と企業の御発展をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



双葉支部長
松本 定雄

明けましておめでとうございます。マスコミ等は景気はかなり上向いてきており明るい見通しとの報道が盛んに伝えられておりますが都市部と地方、業種間の格差が鮮明で私達を取り巻く環境は依然として厳しいものがあります。

今年こそは何か良い年になるよう希望しております。さて好運は決して棚ぼた式ではない。自らが切り開くものではないでしょうか？自助努力が肝要かと考えます。

今年も双葉支部は事業計画に沿って活発に活動を展開してまいります。二月二十九日には東京電力さんのご協力では現在、人気拔群の女性弁護士住田裕子さんの講演会と懇親会を浪江町如水で双葉・浪江・大熊・小高四支部合同で開催します。三月にはパークゴルフ大会を行います。さて支部活動は三角形の底辺部のようなものではないでしょうか。法人会では最も大切なもの。今後共魅力ある支部造りに努め、さらに、事業を通して会

員間の交流を深めながら自己を啓発し「よき経営者をめざすものの団体」として進展をしていきたいものと考えております。



大熊支部長
太田 宏明

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様方にはつつがなく新年を迎えられたことと思います。

昨年はおだやかな一年をとお願っておりましたが、複雑怪奇な事件、犯罪が頻発しました。その上に積み重なるように、ミートホープ、比内鶏、白い恋人、赤福、御福餅、老舗の船場吉兆までが食品、商品に常識的に考えてやってはいけない偽装工作をやつてしまい、消費者に疑念を抱かせた最悪の事態となつてしまいました。先物、マネーゲームによる原油、穀物の高騰にも目を離せない状況であります。気を引き締め原点に戻った考えで真剣に自己の企業の存続を見直さなくてはなりません。

さて私も大熊支部長として

しては、会員入会率ブービーメーカーの位置を一刻も一日も早く脱出をと支部会員の皆様と幾度となくお知恵を借りながら話し合いをしており、研修、親睦の旅行なども実施しました。今年はその時が来た晩には会員みなで大声で乾杯、酒宴をやりたいと思います。



富岡支部長
藤沢 徳義

あけましておめでとうございます。

平素より支部会員の皆様には、事業運営にあたり多大なるご協力を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は国から地方への税源移譲をはじめ減価償却制度、中小企業関係税制等の改正など様々な税制改正がなされました。また、企業の社会的信用の失墜、企業コンプライアンスということばもニュースで非常に多くとりあげられた年でもありました。こうした状況下において、我々もめまぐるしい環境の変化に対応しなければなりません。

んし、また企業が果たすべき社会的役割をもう一度原点に返って見直さなければならぬと感じております。

法人会活動運営におきましても税務をはじめ経営知識の向上と社会的貢献を柱とし、原点に返った事業運営に取組んで参りたいと思います。

最後に会員企業のご繁栄と皆様のご健勝、ご多幸を祈念し新年のご挨拶といたします。



青年部会長
遠藤 充洋

新年明けましておめでとうございます。相双法人会青年部会長の遠藤充洋でございます。

昨年は青年部会として、社会貢献事業である海岸清掃の参加、二本松で開催された福島県法人会青年部会連絡協議会の会員研修大会、全国青年の集い「愛媛大会」、県女性連協研修会「相双大会」の参加、租税教室講習会への参加など積極的に活動してまいりました。

本年は一月より e-Tax

普及を目指して、相馬、原町、浪江、富岡支部にて、カードリーダーの無料レンタルを開始します。e-Tax に関しては青年部会としても利用を推進し、広くアピールしていきたいと思っております。各支部に受付の用紙がありますので、e-Tax を考えていらっしゃる方は是非御利用ください。

それから二月には工場見学を含めた視察研修会を行う予定であります。青年経済人として、自己修練を行い相互の交流を深めながら、良き経営者となるように今後も青年部会一同努力して参りたいと存じます。本年も宜しくお願い致します。



女性部会長
椎谷 節子

明けまして、おめでとうございます。

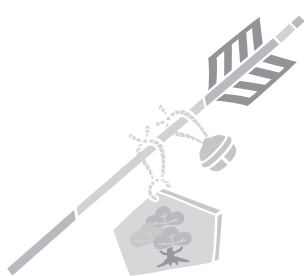
昨年は、県連女性部会研修事業「相双大会」を盛会にて終了できました事で、全会員が、安堵と自信に満ち、充実した年でありました。各人が自分らしく、力量を存分發揮

し、互いにかばい合いながら、成し遂げたこの経験は、本年の活動に大きな原動力となり得るものと確信しております。

平成十九年度の行事予定も、会員の親睦会・親会事業の協力と残っておりますが、連携を密にし、楽しみながら、参加していただける様、お願いいたします。

ー 本年の課題ー。少数である本会が、印象に残る活動をするには、どう工夫したらよいか。という事です。青年部会・青申会・納税組合他、類似組織への共催呼び掛け等も、一策かと思えます。「実績こそ、会の PR である」と考えます。そして、会員増強につながってゆけば幸いです。

相双法人会・青年部会・女性部会の躍進と、会員企業様のご繁栄そして、会員の皆様のご健勝を、お祈りし、ごあいさつと致します。



支部だより

鹿島支部

十月二十一日～二十二日の両日、山形県の袖米沢法人会へ視察研修を実施しました。米沢法人会研修の目的は高い加入率の取り組みと研修事業の充実を参考にするためで、会長・副会長3名・専務理事・事務局の6名で対応していただき感激しました。主な事業内容としては組織強化と会員増強を図るため本会理事会等における出欠状況を税務署がチェックし出席率が向上している件や現在加入率が71.6%となっているがそれに満足せず、目標は敢えて高く設定し75%を目指して取り組んでいる旨の説明を受けました。また、研修事業の充実につ



いては、商工会・商工会議所、講師(税務署、税理士会、高校教諭等)と密接に連携し算数的にも安価で効果的なものを数多く実施しているそうです。また、社会貢献活動を積極的に行い地域に法人会をアピールしているとのことでした。

今回の研修は支部単位で解決出来る問題と本会全体で取り組まなければならない問題があると思いますが、意識の高揚度合いの違いを感じた大変有意義な研修でした。

原町支部

今年度の原町支部は、支部会員事業所が直接的に得られる支部会員としての付加価値を高めるために、勉強会や講演会を開催してきました。しかし事業費用の関係にて、他団体との共催などで実施しています。

今年度、これまで実施しました勉強会・講演会は次の通りです。また今年度後半にも同様に企画・実施をしてまいります。

- (1) 5月16日(水) 午後5時45分から午後6時15分 ニューさいとう

テーマ…「パートナービジネススロートンについて」

講師…東北税理士会相馬支部長 平間廣 先生

内容…今年度から創設されるパートナーシップについての勉強会でした。当支部単独開催。

- (2) 6月1日(金) 午後5時30分～午後7時・ラフィース

テーマ…「町工場の底力」

講師…株式会社 中野鉄工所 代表取締役 中野隆次氏

内容…講師は、世界初のエハアブの製品化を成功させ海外特許を12ヶ国取得した職人肌の工場経営者で、ものづくりの講演会でした。南相馬経営者協会との共催。

- (3) 6月6日(水) 午後1時30分～午後3時30分・原町商工会議所

テーマ…「県・市による制度資金の説明会」講師…福島県金融グループ担当者・南相馬市商工労政課担当者

内容…平成19年度の福島県と南相馬市の制度資金の説明会。原町商工会議所との共催。

- (4) 9月6日(水) 午後4時～午後6時・ロイヤルホテル丸屋

テーマ…「会議の上手な進め方」講師…株式会社ヒューマン・リスベクト 代表取締役社長 中小企業診断士 塚原 美樹 氏

内容…効果的・効率的な社内会議の進め方についての講演会。南相馬経営者協会との共催。主管は当支部。

共催。主管は当支部。

双葉支部

昨年十月十二日に双葉支部視察研修を実施しました。

まず、南相馬市の(株)シマ商会さんの自動車リサイクル工場「ゆめ工場」にお邪魔しました。現在、九十五%のリサイクルに成功しており、一〇〇%を目標に研究に取り組まれている姿勢に、深く感銘を受けました。

午後は、仙台国税局の法人課税課を見学し、e-Tax普及推進、酒税についての説明を聞きました。また、特別に酒の鑑定所に入れていただき、利き酒体験をして参りました。参加者の目が一番輝いた研修だったのではないのでしょうか。(笑)

帰りは大玉村にあるスー



パーセンタ―「PLANT5」に立寄りしました。四月に隣町にオープンするということで、皆真剣に見学している様子でした。

かなりのハードスケジュールでしたが、天候にも恵まれ、とても充実した視察研修となりました。

最後に、快く受け入れて下さった研修先の皆さんに感謝いたします。



富岡支部

富岡町恒例のえびす講市が十一月十七日、十八日の両日、富岡中央商店街で開催されました。

多くの来場者で賑わう中、相双法人会富岡支部も支部役員による「法人会PRコーナー」を設置、税に対する啓

発活動並びに法人会活動を積極的にPRしました。



大熊支部

大熊支部視察研修を十一月二十七、二十八の両日、十三名の参加で実施いたしました。

研修事業も今年で三回目となりますが、参加者は支部役員が殆どで、一般会員の参加が少ないのが今後の課題となつてまいりました。しかしその反面、支部最大の課題である会員増強問題が車中で、ホテルで、また懇親会の席でと話題になり、今後の会員募集に期待できると言う良い面もありました。

研修内容は多種に渡っておりますが、中でも世界遺産の【日光東照宮】は、当時の建築技術の粋を集めた建造物であることが改めて理解でき、

案内人の説明も懇切丁寧で予定時間をオーバーし食事時間を短縮することとなりました。

また、日光の造り酒屋【株渡邊佐平商店】では、専務より日本酒の基礎知識を学んだ後、これは全国でも無いそうですが、杜氏自らが蔵内を案内し、製造工程、日本酒雑学、日本酒の効能を説明していただき、参加者も（殆どが飲む口のある人）納得し大満足されたようです。その説明のなかで印象に残った効果を二つ紹介いたします。

一、日本酒は糖尿病に良くないとは誤解です。

二、日本酒はボケを防いでくれます。

詳しく知りたい方は、一度見学に行つて直接説明を受けることをお勧めします。



研修委員会 第11回会員親善ゴルフ大会開催

爽やかな秋晴れの下、10月19日、鹿島カントリー倶楽部にて、相双法人会主催の「第11回会員親善ゴルフ大会」が開催された。

10支部より67名が参加し、記念撮影、始球式の後、個人及び支部団体戦の上位をめざし、いざスタートです。

各支部ともメンバー取り揃えての参加です。

コンペの結果は次の通りです。

・個人戦

優 勝	永井 幸雄	(有)木幡商事 (双葉支部)	Net 72.60
準優勝	小林 耕一	太田商事(株) (大熊支部)	Net 72.80
第3位	渡辺 照行	(株)渡辺興業 (富岡支部)	Net 73.00
第4位	酒井 利治	(資)オアシス楽器店 (相馬支部)	Net 73.80
第5位	鳥居 美光	(株)まつもと (双葉支部)	Net 74.00

・団体戦 (上位4名)

優 勝	双葉支部	Net 合計 299.2
準優勝	富岡支部	Net 合計 299.8
第3位	相馬支部	Net 合計 301.4

※賞品をご提供いただきました各社に、心より御礼申し上げます。



永井さん
優勝おめでとう



税制委員会

租税教室



駒ヶ嶺小学校6年生 12月11日



大堀小学校6年生 12月5日



左上: 栗原三和子先生 (女性部会副会長)

右下: 番場三和子先生 (女性部会副会長)



渡辺一成南相馬市長へ



税制改正陳情 (12月7日)



遠藤勝也
富岡町長へ
(副町長受理)

福島県法人会連合会女性部会連絡協議会

第8回 会員研修会「相双大会」開催



相双の美女ここに集合!!

10月12日(金)、南相馬市ロイヤルホテル丸屋にて、県内各法人会女性部会員169名の参加と御来賓16名の御出席を賜り、盛大に開催。

第一部が開会セレモニー、二部は「時代を動かし、男社会を生き抜く新しい女性の役割」と題して、経済評論家の荒和雄氏の講演。三部の懇親会では、相馬野馬追いの法螺貝、華やかにフラダンス。なごり尽きず無事終了。

大会開催にあたり、相双の女性部会員皆様のご協力に感謝申し上げます。



受付嬢のみなさん



講師 荒氏



ブアナニ教室・フラダンス



司会：番場副会長



ごちそうを前にチーズ!



佐々木署長“乾杯?”



熊川会長・寺島副会長を囲んで



日本民謡協会八坂支部の法螺貝と踊り

編集後記

風と水

風と水については、昔からいろんな話や歌などが伝わっている。

風の又三郎、はしだのりひこの風、風力発電…。福島県の猪苗代湖の近くにある布引山の風力発電「大根の畑」「コスモス」「ひまわり畑」と調和していると、なによりも自然と調和していると感心しました。(空と湖と風車の羽根)

水は、水ばしろう、水仙と大切な水のついた植物も大変多く感じます。新しい年のお水とり、水かけ祭り…。風と水をじょうずに利用したいと感じます。新しい年、皆様の御健康と御発展を心からお祈りして、御あいさつに替えさせていただきます。

(行生郎)